

令和7年度 第3回 学校運営協議会（議事録）

1. 開催概要

I 日時：令和8年2月13日（金） 午前10時00分～12時00分

II 場所：静岡県立浜松湖東高等学校 小会議室

III 出席者（委員、敬称略）

小泉正嗣（元公立高校長・山梨学院大学嘱託員・常葉大学講師、会長）

高木邦子（静岡文化芸術大学教授、副会長）

神間智博（本校同窓生）

鈴木恵子（認定 NPO 法人魅惑的倶楽部理事長）

白柳健司（本校後援会長）

竹本澄生（神久呂協働センター所長）

本校職員

渥美真人（校長）、猿田かおる（副校長）、萩原英城（教頭）、藤田優子（事務長）

IV 議事内容

(1) 校長挨拶および本年度の取り組み報告

今年度のテーマ「見える改革・動く改革」に基づく活動報告が行われた。

- ・探究活動と地域連携：「アウトプットできる力」の育成を重視し、ポスター発表会や企業と連携した「シズクリプロジェクト（エンジン）」を実施。

また、生徒によるフェアトレード活動としてタイへの研修派遣を実現。

- ・「面倒身の良い学校」のシステム化：教育コーディネーターを中心とした情報共有システムを構築し、生徒の安心感向上に寄与。
- ・学校の特色化とDX：Instagramの活用（フォロワー2800人超）やデジタルプラットフォーム「C-learning」の導入、デジタル新聞・図書を活用を推進。

(2) 今年度の本校教育活動報告（教頭より）

- ・教務：新しい教育課程。「C-learning」の導入による欠席連絡等のデジタル化を推進。職員室の出欠黒板もデジタル化で提示。
- ・生徒指導：生徒一人ひとりに寄り添った指導を継続。外部機関との連携。
- ・部活動：教員不足や学級減を見据え、部活動の精選が必要。
- ・進路：入試の早期化（総合型・推薦型）に合わせ、数ヶ月かけた丁寧な小論文・面接指導を実施。

(3) 学校評価アンケート集計結果および学校関係者評価（副校長）

生徒・保護者アンケートの結果報告が行われた。

- ・成果：生徒の「安心・安全な場がある」「悩みへの指導」の項目が10ポイント以上上昇。
- ・課題：校舎の経年劣化により、施設設備への満足度が50%を割り込んでいる。
- ・分析：3年生の満足度が一部低下している要因として、早期に進路が決定した生徒のモチベーション維持の難しさが挙げられた。

(4) 意見交換（主な発言）

- ・AIの活用：「探究活動でAIやCanvaを活用するのは良いが、楽な方に流されず、自分を深めるツールとして使いこなしてほしい」との意見。
- ・部活動と居場所：「部活動の枠に捉われず、フェアトレードやボランティア活動など、生徒が主体的に集まれる場（受け皿）を大切にすべき」との提案。スマホ等に費やす時間の代替。アルバイトのあり方。
- ・地域との交流：協働センター等からのボランティア情報の積極的な提供を依頼。また、教員と委員が直接

対話するワークショップの開催提案があった。

V 今後の日程

- ・ 第4回学校運営協議会：令和8年3月9日（月）10:00～12:00
内容：令和8年度 学校経営計画の基本方針（案）についての協議